

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公表番号】特表2006-512077(P2006-512077A)

【公表日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2004-564004(P2004-564004)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/70 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/576 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/70 Z N A

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/576 Z

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月22日(2006.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

DC-SIGNまたはDC-SIGNRを発現している細胞に対するHCVの結合を検出するための方法であって：

(a) HCVの供与源と前記細胞を、前記細胞に対してHCVを結合させるために十分な時間接触させることと；および

(b) 前記細胞に結合した任意のHCVを検出することと、を含む方法。

【請求項2】

HCVを含むことが疑われる生物源におけるHCVの存在を検出するための方法であって：

(a) DC-SIGNまたはDC-SIGNRを発現している細胞と前記生物源を、前記細胞に対してHCVを結合させるために十分な時間接触させることと；および、

(b) 前記細胞に結合したHCVの存在を検出することと、を含む方法。

【請求項3】

DC-SIGNまたはDC-SIGNRを発現している細胞に対するHCVの結合を阻害することができる化合物を同定するための方法であって：

(a) 試験化合物の存在下および非存在下の双方で、HCVの供与源と前記細胞を、前記細胞

胞に対してHCVを結合させるために十分な時間接触させることと；および、

(b) 前記細胞に結合したHCVの存在を検出することと、  
を含み、前記試験化合物の非存在下で前記細胞に結合したHCVの量と比較して、前記試験化合物の存在下で細胞に結合したHCVの減少は、前記試験化合物が前記細胞に対するHCVの結合を阻害することができることを表す方法。

【請求項4】

請求項1～3の何れか1項に記載の方法であって、前記細胞に結合したHCVが、(a)RT-PCRと続くサザンブロットとによって、(b)リアルタイムPCRによって、(c)免疫アッセイを用いて、または(d)HCV-特異的な検出試薬を用いて検出される方法。

【請求項5】

前記HCV特異的な検出試薬が、抗体またはオリゴヌクレオチドプローブまたはプライマーである、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記オリゴヌクレオチドプローブまたはプライマーが、HCVゲノム又はこれらの一部に特異的にハイブリダイズする、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記生物源が、体液、組織、または細胞である、請求項2に記載の方法。

【請求項8】

前記体液が、血液、血清、血漿、または羊水である、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

DC-SIGNまたはDC-SIGNRを発現している細胞のHCVによる感染を阻害することができる化合物を同定するための方法であって：

(a) 試験化合物の存在下および非存在下の双方で、HCVの供与源と前記細胞を、HCVにより前記細胞を感染させるために十分な時間接触させることと；および、

(b) 前記細胞におけるHCVの存在を検出することと、  
を含み、前記試験化合物の非存在下での前記細胞におけるHCVの量と比較して、前記試験化合物の存在下での前記細胞におけるHCVの減少は、前記試験化合物が前記細胞のHCV感染を阻害することができることを表す方法。

【請求項10】

HCVによる第一の細胞の感染を阻害することができる化合物を同定するための方法であって、前記第一の細胞は、HCVによる感染に感受性であり、該方法は：

(a) HCVの供与源とDC-SIGNまたはDC-SIGNRを発現する第二の細胞を、前記第二の細胞に対してHCVを結合させるために十分な時間接触させることと；

(b) 試験化合物の存在下および非存在下の双方で、前記第二の細胞に結合したHCVと前記第一の細胞を、前記試験化合物の非存在下で前記第一の細胞にHCV感染させるために十分な時間接触させることと；および、

(c) 前記第一の細胞におけるHCVの存在を検出することと、  
を含み、前記試験化合物の非存在下におけるHCVの量と比較して、前記試験化合物の存在下での前記第一の細胞におけるHCVの非存在又はHCVの量の減少は、前記化合物が前記第一の細胞のHCV感染を阻害することができることを表す方法。

【請求項11】

前記試験化合物が、抗体、非抗体ポリペプチド、または非ペプチジル薬剤である、請求項3、9または10の何れか1項に記載の方法。